

オリンピック選手による運動教室やレクリエーションや障害者スポーツを紹介することで、運動の面白さや充実を目指し、運動好きの児童を増やす取組

学校名 長門市立仙崎小学校（山口県）

全校児童数 271名（男子123名 女子148名）
（本実践に係る問合せ先）

電話番号 0837（26）0414

学校メールアドレス senzakischo@hotmail.com

1 実践（研究）のねらい

（1）オリンピックによる運動教室を行ったり、簡単にできるレクリエーションを紹介したりすることで、運動好き、体育好きの児童を増やす。

（2）運動教室で運動の楽しみ方やトレーニング方法を学んだり、全校でレクリエーションを楽しむ機会を設けたりすることで、継続して運動ができるようにしていく。

2 実践（研究）の概要

（1）運動が好きでない（9%）、体育が好きではない（4%）と運動、体育嫌いの児童がいるので、運動嫌いの児童8%以下を目指したい。

（2）オリンピックによる運動教室やレクリエーションの紹介、障害者スポーツの体験を通して、運動の面白さや運動の幅を広げることで、運動好きの児童を増やしていきたい。

○課題を解決するために実践した具体的な取組について

1 具体的な取組内容・方法、取組を進める上での工夫点等

（1）レクリエーションで運動遊びの充実（対象 2年50名）

レクリエーション協会の方に、簡単にでき、みんなで楽しめるラダーゲッターや鬼ごっこ（ポイズンリムーバー）を指導してもらい、昼休みに縦割り班遊びで行うことで、みんなで遊ぶことの楽しさを味わうことができた。

（2）パラリンピック種目の車椅子バスケットの体験（対象 4年40名 5年42名）

協会の方と実際にプレイしている選手に来ていただき、講話を聴いたり、実際に体験をしたりすることができ、スポーツの楽しみ方を考えるきっかけとなった。

（3）オリンピックによる運動教室の開催

①楽しいランニング教室（油谷繁監督）対象 5・6年 59名

本校出身の油谷繁監督によるランニング教室では、走るための準備運動や股関節の可動域を広げるための運動を教えていただき、走る楽しさを感じる事ができた。

②楽しいラグビー教室（富田真紀子選手）対象 3年 50名

富田選手によるラグビー教室では、空いているスペースに走る、みんなで声をかけあってゴールを目指すなど実際に動きながら、ラグビーの楽しさを感じる事ができた。

○児童児童の安全を確保するため配慮（工夫）したこと

1 実施する運動や遊びによって室内か室外かを考えて実施した。また、場については、講師の先生と連絡を取り、安全な場で実施できるように配慮した。

○成果の意義と今後の課題

1 運動教室やレクリエーションを行うことで、運動嫌いが8%以下となり、体育の授業が好きと答えた児童が80%を越えた。運動嫌いな子が数名いるので、個別のアプローチが必要である。

2 継続的に昼休みに縦割り班でレクリエーションを行い、普段、あまり運動をしない児童も運動を楽しむことができた。今後、多様な遊びが広がっていくとよい。

○ 研究内容

【油谷繁監督によるランニング教室】

走り方のコツとトレーニング方法を学ぼう



【富田真紀子選手によるラグビー教室】

ラグビーの楽しさやチームワークの大切さを学ぼう



【レクリエーションをみんなで楽しもう】

楽しい鬼ごっこやラダーゲッターをやってみよう



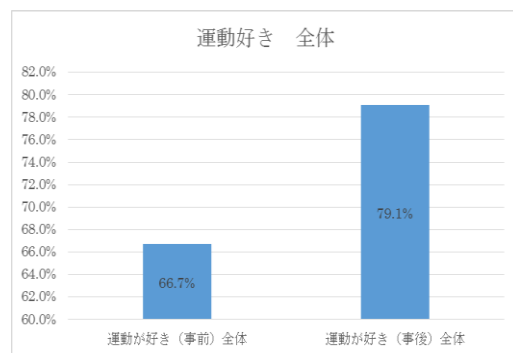
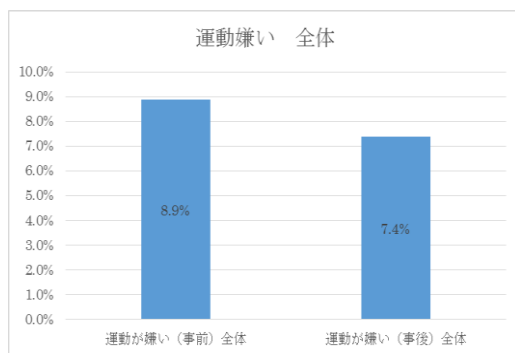
【やってみよう！車椅子バスケット】

パラリンピックの競技をやってみて運動の面白さを知ろう



【運動好きの児童の増加】

運動嫌いの児童が減少し、運動好きな児童が増加した。



【運動好きの児童を増やしていく】

多様な運動の経験をすることで、運動好きの児童を増やしていく

- 1 今後は、体育の授業改善を進める中で、児童に身につけたい動きや技能を明確にして、運動が苦手な児童へのアプローチを共有化しながら、運動好きの児童 90%を目指したい。
- 2 昼休みに縦割り班で遊ぶ時間やなわとびや長縄など行う時間を確保し、普段は、あまり運動をしない児童も楽しめるような取組を行っていきたい。